

物知りおじさんの
ふるさと情報



中山道かたりべの会会長
西尾 重人さん
(大井町)

今月の物知りおじさん

明治天皇巡幸に際した
二つの興味深い話

明治天皇巡幸の目的は、住民の声を聞く民情視察でした。大井町の行在所に滞在の際にも大井の住民をはじめ、近郷の人々が天皇に何かと申し上げる中で、承久の乱にあたって殉じた一条信能に関する話がありました。

一条信能は鎌倉時代の公卿で、後鳥羽上皇の近臣として、承久の乱(1221年)を戦いましたが、幕府方に捕まり鎌倉へ護送中、岩村城主遠山景朝に岩村城下相原の地で処刑されました。30代の若さでした。岩村の里人はこれを哀れみ、その地に小さな祠を建て若宮社と称し、供養を続けてきました。この話を聞いた明治天皇は一条信能の御霊をご追認され、特別に勅使を派遣して、天皇からの香典にあたる供物料を岩村に届けました。これにより若宮神社を再建し、翌年明治14年には社号改称の沙汰があり岩村神社と称することになりました。



▲明治天皇の供物料で再建された岩村神社

が、勝海舟に見込まれ、江戸城の無血開城ができたのも鉄舟のおかげといわれています。そして幕臣でありながら、天皇の教育係の侍従として抜擢され、宮内大書記官として、巡幸先の下見に来ていました。当日の鉄舟の記録は残っていませんが、山岡中尉の名前で、天皇の護衛として50人程の部下と、大井宿の市神社付近にあった旅籠屋(大阪屋)に記帳が見られることから、この巡幸に同行していたと思われる。

ふるさとに学び郷土愛を育む、毎月第3日曜日は「恵那市読書の日」
市中央図書館・伊藤文庫

市民意識調査の結果を
お知らせします

問い合わせ 企画課 ☎26-2111 (内線346)

この調査では、市民の皆さんの暮らしの現状や住み続けるために必要なこと、まちづくりに関する具体的な質問などのほか、第2次総合計画の推進状況を把握するための事項などを聞きました。また、市政に対する意見や提案などを自由に記入していただきました。調査結果は、「第2次総合計画」の推進や今後のまちづくりの基礎データとして活用します。

- 調査対象 18歳以上の市民から2500人
- 抽出方法 無作為抽出法
- 調査方法 郵送配布、郵送回収
- 調査時期 平成30年1月
- 有効回答 1431件(回収率75%)

調査の概要

率57・2割) □性別 男性46・9割 女性53・1割

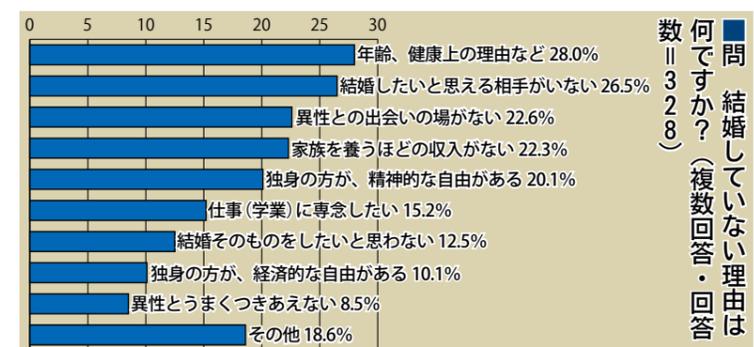
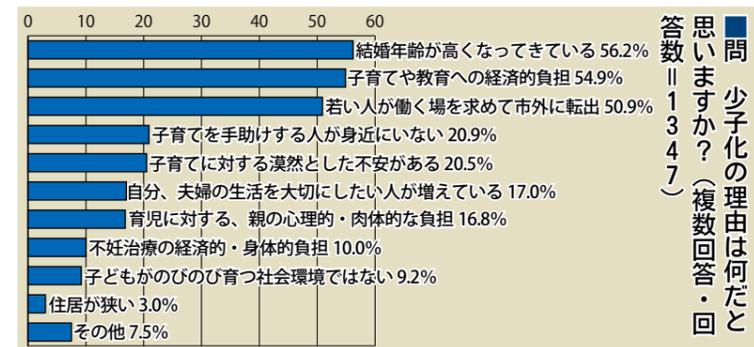
30歳未満	12.7割
30歳代	9.7割
40歳代	17.5割
50歳代	13.3割
60歳代	17.4割
70歳代	16.4割
80歳以上	13.0割

「恵那市に住み続けた
い」が72・3割

「これからも今の場所に住み続けたいですか?」との質問について、「住み続けたい」(67・0割)が最も高く、「市内へ引越ししたい」(5・3割)と合わせた「恵那市に住み続けたい」(72・3割)が全体の約4分の3を占めました。

「今後、恵那市に住み続けるために、何を伸ばしていくべきだと思いますか?」との質問について、恵那市に住み続けるために伸ばしていくべきことは、1位「働く環境」、2位「医療環境」、3位「子育て環境」、4位「アミューズメント施設(娯楽施設)」、5位「まちづくり・地域活動」の順になっています。年代別では、全ての年代で「働く環境」が1位となりましたが、30歳未満で「アミューズメント施設(娯楽施設)」、70歳以上で「まちづくり・地域活動」が年代別の上位に入りました。

地域別では、全ての地域で「働く環境」が3位までを占めました。大井、長島、東野、三郷、武並で「アミューズメント施設(娯楽施設)」、笠置・中野方・飯地と串原・上矢作で「農林業の活力」、岩村・山岡・明智と串原・上矢作で「教育環境」が上位に入りました。



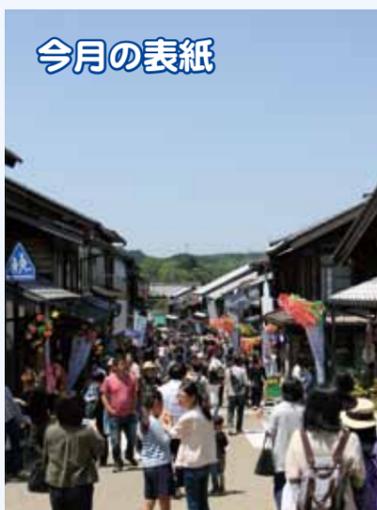
結婚・少子化の調査結果

第2次総合計画では「人口減少対策」と「市(財政)の存続」を「優先する視点」として位置付け、早急に取り組むべき課題としています。結婚・少子化についての調査結果を紹介しましょう。「少子化の理由」では、「結婚年齢が高くなってきている」「子育てや教育への経済的負担」「若い人が働く場を求めて市外

結婚していない理由

理由はグラフのとおりですが、年代により特徴的な結果となりました。30歳未満は「仕事(学業)に専念したい」が上位であるのに対し、30歳代や40歳代ではこれらが大幅に低下し、「結婚したいと思える相手がない」「結婚そのものをおこなわない」「結婚したいと思える相手がない」が上昇しています。

観光客が岩村町本通りを埋め尽くす



5月5日、岩村町本通りでふくろうまつりが開催されました。このイベントは連続テレビ小説「半分、青い。」に登場する架空の町、東美濃市ふくろう町に登場する「ふくろう商店街」としてロケが行われたことがきっかけで開催されました。ゴールデンウィーク中は多くの観光客がこの地を訪れ、大いににぎわいました。ふくろうまつりは、今後も定期的に開催されます。

数字で見る
恵那市

人口(5月1日現在)

総数	50,645人 (+15)
男	24,605人 (+13)
女	26,040人 (+2)
世帯	19,715世帯 (+57)

()内は前月との比較

人口動態(4月異動)

出生	17人
死亡	60人 (-43人)
1月からの自然増減	-182人
転入	186人
転出	128人 (+58人)
1月からの社会増減	-107人

救急車出動回数(4月)

総数	199回(836回)
----	------------

()内は1月からの累計

交通事故(4月中の概数)

人身事故	10件(31件)
物損事故	91件(450件)
負傷者	13人(38人)
死者	0人(0人)

()内は1月からの累計

火災(4月)

建物	1件(2件)
その他	2件(7件)

()内は1月からの累計

広報えな6月号 目次

- 3 特集 市民意識調査の結果
- 4 特集 介護保険料の改定
- 6 特集 平成29年度下半期 財政状況
- 8 注目情報
- 10 お知らせ
- 16 みんなの掲示板・おくやみ
- 18 健康ガイド
- 19 子育て支援センター・相談
- 20 地域情報トピックス
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学 ビジネスサポートセンター 健幸レシビ・男女共同参画
- 24 出生・1歳になりました 園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 28 職員募集

市ウェブサイト
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。

市メール配信サービス
防災や観光などの情報を電子メールで配信しています。